

平成 26 年度事業報告

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

平成 26 年度の教育支援活動については、

- (1)子どもの教育に関する教育支援事業
- (2)子どもの教育に関する教育相談事業
- (3)子どもの教育に関する教育研究事業

の 3 事業を公益性に配慮しつつ実施し、以下の成果を収めた。

第 6 回目を迎えた「環境教育ポスターコンクール」では、これまでの実績が評価され、環境大臣賞に加え文部科学大臣賞の授与が認められることとなった。文部科学大臣賞の新設によって応募総数も増加し、作品の質・量ともに充実したコンクールとなった。

また、環境について更なる学びの場とする「環境教育フォーラム」を開催した。本フォーラムでは、世界的建築家の安藤忠雄氏を講師にお招きして、環境に関する講演会を実施した。

「学習心理支援カウンセラー」「ピアアシスタント」の養成では、研修の受講及び講座開講について一層の意欲向上を図った結果、多数の有資格者が誕生した。

不登校児童・生徒の学校復帰支援活動では、学びの主体性等を向上させるため、ICT を活用した教育指導手法の導入を試みた。さらに、自然・屋外体験活動の場を積極的に提供し、子ども達の「生きる力」の育成に寄与した。

平成 26 年度の活動の主な内容は、以下のとおりである。

1. 子どもの教育に関する教育支援事業

(1)不登校児童・生徒の学校復帰に対する支援活動等

① 東京大志学園の運営

学校復帰率向上のため、行政との連携を図りつつ、社会体験活動など子ども達の自己肯定感を高める取組みや、家庭へのサポートを実施した。

また、不登校児童・生徒の協同性や学びの主体性を向上させることを目的に、タブレット端末を使用した試験的授業を実施した。

なお、支援対象となる児童・生徒のうち、中学 3 年生の高校等進路決定率については、前年度に続き高い水準を維持しており、学校復帰を最終的目標とせず先を見据えた教育指導の成果が定着している。

② 子どもへのかかわり、対処方法など親の役割を考える会「親の会」の開催

(2)自然体験活動

① 親子宿泊体験教室の開催

「平成 26 年度引きこもり、不登校に対する支援活動」

学校に行きづらいことで自信を失ってしまった子ども達に自尊感情を高めてもらい、「生きる力」を育むことによって学校復帰支援の一助とするため、宿泊体験教室を開催した。

本プログラム終了後の検証では、不登校小中学生及び高校生スタッフの双方に自尊感情の高まりが認められ、学校に復帰しようとする意欲の向上が確認された。

② 「大志の森」親子自然体験イベントの開催

小学生及びその保護者を対象に、屋外活動施設を利用して四季に応じた自然体験型プログラムを実施し、動植物の生態や生命、自然の恵みを大切に思う心を育む学習支援を行った。

③ 課外活動「桜を見る会」の開催

④ その他の体験活動の場の提供

(3) ポスターコンクール

① 「第6回環境教育ポスターコンクール」の実施

子ども達が実生活の中で環境課題に向き合い、為すべきことを考える機会となることを目的に実施した。

平成26年度からは最優秀作品に対する表彰として、環境大臣賞に加え文部科学大臣賞の授与が認められたことによって応募総数が増加した。

入賞者の保護者からは、本コンクールでの入賞が本人の自信や励みに繋がり、繋がった旨の便りも寄せられ、環境意識の啓発のみならず、子ども達の内面の成長にも有為なものとなった。

② 「環境教育フォーラム」の開催

環境について更なる学びの場とするため、環境への取組みを実践されてきた建築家である安藤忠雄氏の講演会を実施した。また、「第6回環境教育ポスターコンクール」入賞作品及び入賞者の紹介を行った。

(4) 中学生等の進路選択支援事業

(5) 教育施設運営

① 高等学校(通信制)の運営(鹿児島県)

(6) 海外体験活動の実施

① 海外教育事情体験

(7) 定期刊行物の発行

2. 子どもの教育に関する教育相談事業

(1) 講演会、進学指導説明会・相談会、相談会

① 「教育シンポジウム」「教育研究相談会」の開催

これまで行ってきた「教育シンポジウム」に加え、教育関係者を対象に、不登校対応・保護者面談対応に関する勉強会「教育相談研究会」を開催した。

② 「不登校中学生保護者のための高校進路説明・相談会」の開催

③ 教育相談の実施

(2)人材養成研修

① 「学習心理支援カウンセラー」の養成

教育学と心理学の理論と実践を往還できる教育関係者、コーディネーターの養成を目的として、心理臨床に関する専門知識及び技能の向上を図る研修プログラムを実施した。

② 「ピアアシスタント」の養成

高校生を対象に、円滑な人間関係とサポートシップを育成するための研修を実施した。資格研修会の開催を検討している指導候補者の開講意欲を高めるために、ピアアシスタントの実習を受けている生徒の様子や成長が分かる映像を発信するとともに、指導者向けのガイダンスを開催した。

3. 子どもの教育に関する教育研究事業

(1)子どもの育ちを考える研修会とシンポジウムの開催

① 「子どもの育ちを考えるシンポジウム」の開催

(2)乳幼児指導者養成研修の実施

① 乳幼児ケアヘルパー(初級)研修

② 子育て支援プロジェクトリーダー研修

4. その他目的を達成するために必要な事業

財団業務の安定性、健全性を担保するため、不動産賃貸事業を行った。
また、公益目的事業の拡充のため、寄付金を募集した。